Taq MutS



マニュアル 0810-1808

Code No. 316-04011

容量 50 μ g

濃度 $1 \mu g/\mu$

分子量 89.3 kDa

起源 Thermus aquaticus

保存 —20℃

形状

100 mM NaCl, 20 mM Tris-HCl (pH7.5), 0.1 mM EDTA, 1 mM DTT, 50% Glycerol

酵素反応条件

100 mM KCl, 50 mM Tris-HCl (pH8.5 at 25°C), 20 mM MgCl₂, 0.1 mM EDTA, 1 mM DTT, 2% Glycerol 反応温度: 65°C

■添付反応バッファー(凍結保存)

•10× Taq MutS Buffer 1 ml (組成:酵素反応条件の 10 倍濃度)

結合試験

反応溶液 20μ l 中、本品 0.5μ g は、1 塩基欠失のある 36 bp 合成 100 ng と 65°C、30 分間で 50%以上結合することができる。

純度

- ・本品 $3 \mu g$ とプラスミド pBR322 $0.5 \mu g$ を、37°Cで 16 時間 反応させた後、アガロースゲル電気泳動(0.8% Agarose S)を行った結果、oc-DNA の増加は認められない。
- ・本品 3μ g と λ DNA 0.5μ gを 37°Cで 16 時間反応させた後、 アガロースゲル電気泳動 (0.8% Agarose S)を行った結果、 λ DNA の分解は認められない。
- ・本品 3μ g と基質 RNA 2μ g を 37°Cで 16 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動(2% Agarose S)を行った結果、RNA の分解は認められない。

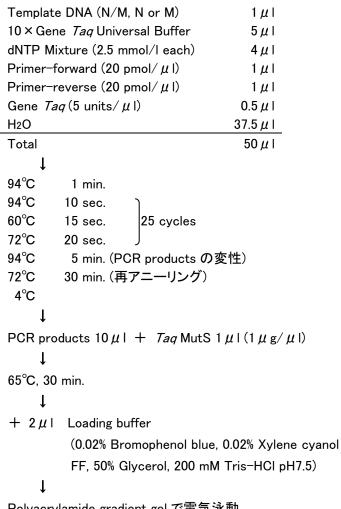
参考文献

- 1) Biswas, I. and Hsieh, P.: *J. Biol. Chem.*, 271 (9), 5040–5048 (1996)
- 2) Biswas, I. and Hsieh, P.: *J. Biol. Chem.*, 272(20), 13355–13364 (1997)
- 3) Takamatsu, S., Kato, R. and Kuramitsu, S.: *Nucleic Acids Res.*, 24 (4), 640–647 (1996)
- 4) Whitehouse, A., Deeble, J., Parmar, R., Taylor, G. R., Markham, A. F. and Meredith, D. M.: *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 233, 834–837 (1997)
- Lishanski, A., Ostrander, E. A. and Rine, J.: *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*, 91, 2674–2678 (1994)
- Wagner, R., Debbie, P. and Radman, M.: Nucleic Acids Res., 23 (19), 3944–3948 (1995)

使用例

PCR products を用いた欠失部位の検出試験

正常な配列(N: normal)に対して 2 塩基の欠失を生じた変 異配列(M: mutant)を持つプラスミドを作製した。鋳型として、 N または M のみを用いたものと、N と M を混ぜたものを用 いて各々PCR を行った。PCR 終了後、変性とアニーリング を行い、直接 Tag MutS(1 µg)を加えて65℃にて30分間反 応させ、電気泳動を行った。PCR で増幅する長さを 60 bp, 100 bp, 200 bp の 3 種類で行い、それぞれにおいて欠失部 位を検出した。



Polyacrylamide gradient gel で電気泳動

Polyacrylamide gradient gel

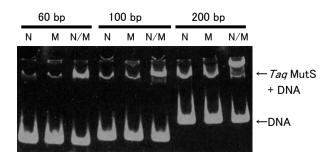
- 4~10% native polyacrylamide
- 1 × TAE
- 0.1 mM MgCl2

電気泳動 Running buffer

- 1 × TAE
- 0.1 mM MgCl2

SYBR® Gold にて染色

1



(その他のデータについてはニッポンジーンのホームペー ジをご覧ください)

お問い合わせ先

株式会社ニッポンジーン TEL 076-451-6548 www.nippongene.com

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。 医薬品の用途には使用しないでください。